

# 「日本の児童養護」

ロジャー・グッドマン著  
津崎 哲雄 訳

## 貧しい施設の全体像に迫る

日本の児童養護施設の姿を知る  
ことのできる待望の研究書が出版さ  
れた。イギリスの社会人類学者によ  
る、参与観察と文化比較の視点をも  
った児童養護施設についての総合的  
な本である。

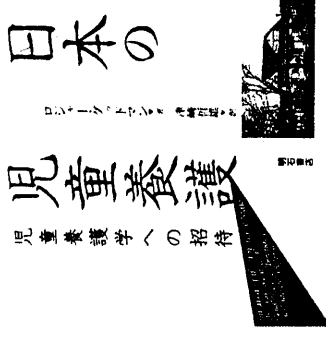
私は一九九〇年代末になって、急  
に児童虐待が騒がれるようになった  
ことに違和感を抱いてきた。児童相  
談所の児童虐待処理件数は激増し  
ている。九〇年に約千件であった  
のが二〇〇二年には約二万四千件、  
二十四倍にもなっている。子どもの  
餓死、長期にわたる暴行の限りが  
報道され、「鬼のような母親」が糾  
弾されている。しかし、近  
年に激増したというのは本  
当か。もともと多くの児  
童虐待があり、八〇年代の  
富裕なサービス社会にな  
って確実に増えていたの  
に、無視してきただけな  
いのか。

しかも児童虐待は、虐待  
を受けてきた人が同じよう  
に我が子を虐待するという  
虐待反復説、虐待を受けた人の心的  
外傷といった心理学的問題に注目さ  
れすぎている。臨床心理グループと  
いう利益集団の職域拡大の願望が動  
いているのではないのか。不幸な児童  
の問題はやはり社会問題であり、福  
祉の問題ではないのか。

例えば東京都による都内十一カ所  
の児童相談所での全児童虐待事例調  
査（〇〇年）によると、その父親で  
定職のある者は六割弱、無職が約一四  
％、転職の多い者が九多くなっている。  
不安定な就労、貧困が虐待と結  
びついている。また親が一人の単身  
家庭は二〇％、実父母とその子どもの  
家庭は約四五％しかない。

さらに虐待された児童が人所する  
児童養護施設について、実態が知ら  
れていない。ある養護施設の入浴で  
は、ベルトコンベヤーに乗っている  
かのようにすばやく子どもの服が脱  
がされ、体が洗われ、浴槽に入れら  
れ、拭かれ、服を着せられる。浴室  
が狭く、次の子どもが入れないから  
である。一歳以下の入浴では、流し  
台のよちなどろで汚れた血のよう  
に洗われている。

職員は子ども相手の勤務を長時間  
務めており、一週間の平均勤務時間  
（時間外除く）は五十八時間、時間  
外は七十二時間にもなる。と言っ



も、七六年以来、六歳以上の子ども  
六人に対し職員一人という最低基準  
を改定しないからである。私たちは  
虐待する親をのりながら、私た  
ちのつくる政府が被虐待児を貧しい  
児童養護施設で制度として虐待して  
いるのに気がない。あえて知らな  
いふりをしてきた。

日本の児童養護施設は五百五十施  
設、定員三万四千五百八十八人（〇三年三月）  
となっている。公立施設は一割に満  
たず、ほとんどは民間であり、同族  
経営が少なくない。入所児童の人権、  
プライバシーなどを理由に、直接観  
察による研究は少なかった。

社会人類学者グッドマンは、近

年イギリスでの「社会的に排除され  
た人びと」の研究の流れに加わり、  
それを日本の抑圧された子どもた  
ちについて行つた。日本社会が最も  
社会的に弱い構成員をどのように  
取り扱っているのか、東京のある施  
設での観察を軸に、広く統計、文献  
を整理して、その全体像に迫って  
いる。

著者は、敗戦後から八〇年代まで  
変わることもなかった児童養護施設  
が、九〇年代初頭より劇的に変化した  
のは、急激な少子化、国連子どもの  
権利条約の批准、そして日本社会  
が児童虐待を発見したこと、この三  
つによると考えている。

つまり、少子化と共に、  
親のいない子どもを受け入  
れる児童養護施設は減少す  
るはずであったが、子ども  
の権利条約の批准とい  
う外の目が導入されること  
によって、日本にも児童虐待  
がある、しかも急増して  
いると「発見」されたので  
ある。そして今後も、同族

経営による児童養護施設、貧しい施  
設を補完する類似ボランティア制  
度、役人が職員を務める児童相談所  
は協働し続けるであろうと予測して  
いる。

児童福祉を学ぶ学生や職員だけで  
なく、日本社会の構造やゆがみを考  
えよとする人にとって必読の本で  
ある。

明石書店・3150円

### 野田正彰が読む



野田正彰  
○のた・まさあき  
関西学院大学教授。精神  
科医。1944年高知  
県生まれ。

◇Roger Goodman 1960年生まれ。オックスフォード大卒業  
現代日本研究所教授。同大学セント・アントニース・コレジ教授位アフェロー。  
◇つぎき・てつお 1949年大分県生まれ。佛大教授などを経て現在、京  
都府立大教授。

(第3種郵便物認可)